

第三部「科学技術の光と影を生活者との対話から明らかにする」分科会

(第24期・第2回)

議事要旨

日時：平成30年8月2日(木) 12:00~13:00

場所：東北大学青葉山東キャンパス 工学中央棟3階 中会議室

出席者：浅見真理、大野秀男、梶田隆章、加藤昌子、高橋桂子、徳田英幸、藤井孝蔵、藤井良一、山口 周、吉村 忍、米田雅子、渡辺美代子

配布資料：

資料1 第1回議事要旨

資料2 光と影解明リスト

資料3 学協会連絡会議説明資料

【議事要旨】

- ・ 第1回議事要旨(案)を確認し、全員一致で承認した。
 - ・ 第三部夏季部会併設公開シンポジウムの主旨について、徳田委員長より説明があった。
 - ・ 第23期に各委員会より提案のあった「光と影解明リスト」について徳田委員長より解説があった。
 - ・ 「光と影」の議論を今後どのように進めていくかについて、意見交換を行った。
(以下、委員からの意見)
 - ・ 情報を受け取る社会の立場からの議論を進めてはどうか。
 - ・ 化学分野は、問題を乗り越えてきた部分もあり、新たな課題を考えていくことも必要である。
 - ・ 影を網羅的にリストするのか、成果の使い方について考察が必要な部分はどこなのか、についての議論も必要である。
 - ・ 個人のデータをどのように取り扱うかについての影の議論、テーマもあるのではないか。
 - ・ 光と影という問題設定はよいが、一面ではなく両面があることを議論することが必要。
 - ・ ブタペスト宣言では、科学と倫理がど真ん中のテーマである。倫理の光と影の議論を国際的に発信することも必要ではないか。
 - ・ オープンデータ、オープンサイエンスをどのように考える必要があるか、についての科学者コミュニティでの理解と促進についての議論が必要ではないか。
 - ・ 土木工学分野では、土木工学の進歩そのものが災害を増やしている面があるのではないか、想定外のことも起こることも光と影ではないか、と考えている。
 - ・ 進歩に伴う反作用、リスクをどうとっていくか、完全は無理ということも知っていく必要がある。
 - ・ 軍事関連のテーマを取り上げるかどうかもある必要がある。ディアルユース、安全保障、表裏一体であることなどもある。
 - ・ その他考えるべき課題として、環境学、医学関係分野、情報セキュリティとデータ収集、データサイエンティストの倫理、自動運転の安全性などがある。
- 今後も継続して議論を続けることを了承して、散会した。

(以上)